



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年8月3日

上場会社名 東海染工株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 3577 URL <http://www.tokai-senko.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 八代 芳明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 津坂 明男 TEL 052-856-8141  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月6日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	3,585	△2.7	6	ー	72	ー	△140	ー
24年3月期第1四半期	3,683	2.1	△14	ー	△26	ー	△61	ー

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △1百万円 (ー%) 24年3月期第1四半期 △15百万円 (ー%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△4.05	ー
24年3月期第1四半期	△1.77	ー

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	13,201	4,701	34.0
24年3月期	13,740	4,798	33.4

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 4,484百万円 24年3月期 4,592百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	ー	0.00	ー	2.00	2.00
25年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
25年3月期(予想)	ー	0.00	ー	ー	ー

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成25年3月期の期末の配当予想につきましては、現時点では未定であります。

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,400	△7.7	△80	ー	△80	ー	△300	ー	△8.66
通期	14,000	△3.5	400	2.0	400	43.7	100	△56.3	2.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー  
詳細は、(添付資料)3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、(添付資料)3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	36,142,529株	24年3月期	36,142,529株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	1,510,686株	24年3月期	1,510,098株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	34,632,284株	24年3月期1Q	34,633,257株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災からの復興需要などを背景に緩やかながらも回復傾向を維持しております。しかしながら、欧州財政危機の再燃や新興国の景気減速懸念を背景に円高・株安が進行したことに加え、電力供給の制約などの影響により、景気の先行きは不透明な状況にて推移しております。

繊維業界におきましては、消費者マインドの改善により店頭における衣料品販売に持ち直しの動きが見られましたが、消費者の節約志向は依然として根強く、本格的な販売回復には至っておりません。染色加工業界におきましても、流通在庫の一巡によるユニフォーム関連需要の落ち込みに加え、歴史的な円高を背景に海外への繊維生産シフトが更に加速しており、国内における受注環境は厳しい状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループでは、主力の染色加工事業におきましては、国内では、日本国内に留まる染色加工の需要を安定的に取り込むため、短納期対応や小ロット対応の体制を強化すると同時に、当社の加工技術を活かした付加価値加工商品の拡販に注力いたしました。とりわけ、編物無地染加工の分野では、量販店向けの受注を大きく伸ばしたことに加え、高機能を付加した特殊加工商品の受注が好調に推移しております。

一方、海外では、インドネシア子会社・タイ子会社ともに日本向け加工・販売と内地向け受注の更なる拡大に注力し、縫製品販売事業におきましても、インドネシア生産体制の強化を進め、売上の拡大に取り組みました。非繊維事業では、保育サービス事業におきまして、保育所件数の更なる増加に努めました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,585百万円（前年同期比2.7%減、98百万円減）と主力の国内染色加工事業の受注低迷の影響により減収となりましたが、利益面では改善を果たし、営業利益は、主に国内染色加工事業の収益力改善によって、6百万円（前年同期は営業損失14百万円）となりました。また経常利益も、営業利益段階での改善に加え、会計基準変更時差異の費用処理完了に伴う退職給付費用の減少などにより72百万円（前年同期は経常損失26百万円）となり、営業利益、経常利益ともに第1四半期連結累計期間としては5期ぶりに黒字転換をいたしました。

なお、当第1四半期連結累計期間に米国子会社の解散に伴う事業整理損168百万円を特別損失として計上した結果、法人税等を控除した四半期純損失は140百万円（前年同期は四半期純損失61百万円）となっております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①染色加工事業

染色加工事業の売上高は2,802百万円（前年同期比6.1%減、180百万円減）と減収となりましたが、営業損失は17百万円（前年同期は営業損失66百万円）と赤字幅を大幅に圧縮しております。

染色加工事業における部門別（加工料部門、テキスタイル販売部門）の業績は次のとおりであります。

##### （加工料部門）

加工料部門は、国内におきまして、無地染加工では、客先との取り組み強化を進め、短納期対応に注力すると共に、付加価値加工商品の拡販に取り組んだ結果、織物は、ユニフォーム関連や婦人カジュアル衣料関連の受注が低迷しましたが、編物では量販店向けの受注が大幅に伸びました。またプリント加工では、編物の受注が比較的好調に推移したことに加え、織物では、量産型デジタルプリント機を活用し、当社が培ってきた画像処理技術を活かした加工商品作りを進め、デジタルプリントでの受注拡大にも積極的に取り組みました。これらの取り組みに加えて、各生産工場にて効率的な生産に努めた結果、国内加工料部門の売上は受注環境の悪化の影響により減収となったものの、収益性は大幅に改善しております。

一方、海外におきましては、インドネシア子会社では、好調な内地向け受注や前期に実施した一律値上げ効果に加えて、日本技術の積極的な導入により日本向け加工に注力し、収入・利益の両面で好調を維持しております。

またタイ子会社では、内地向け受注の増大に取り組むと同時に、日本向けには現地紡績・織布会社や日系商社との連携を更に深め、百貨店向けを中心として売上を伸ばし、生産面では、効率的な生産活動を維持しながら、エネルギー費上昇の吸収にも努めました。

以上の結果、海外子会社2社は現地通貨ベースでは増収となりましたが、加工料部門の売上高は2,165百万円（前年同期比8.0%減、187百万円減）となり、国内の受注低迷の影響により減収となりました。

##### （テキスタイル販売部門）

テキスタイル販売部門は、国内におきましては、店頭における衣料品販売の回復を受けて、編物加工商品を中心に売上を伸ばしました。一方、インドネシアにおきましても、生地値の落ち着きを背景に、欧州向けの輸出販売が好調に推移しました。これらの結果、テキスタイル販売部門の売上高は637百万円（前年同期比1.1%増、7百万円増）と増収となりました。

## ②縫製品販売事業

縫製品販売事業は、インドネシアにおける製品一貫生産体制を活用した日本向け販売が、積極的な営業活動と品質・生産の安定化への注力により、新規の取引を開始するなど、順調に売上げを伸ばした結果、同事業の売上高は489百万円（前年同期比1.2%増、5百万円増）と増収となり、利益面でも、営業利益16百万円（前年同期比3.2%増、0百万円増）と増益となりました。

## ③保育サービス事業

保育サービス事業は、病院などの事業所内託児所の新規開設効果や行政から受託運営する保育園の児童数の増加などにより順調に売上を拡大した結果、売上高は341百万円（前年同期比14.1%増、42百万円増）と増収となりました。しかしながら利益面では、更なる事業拡大を目的に人員確保を進めた結果、人件費や採用費が先行費用として増加したため、営業損失3百万円（前年同期は営業利益7百万円）となりました。

## ④倉庫事業

倉庫事業は、国内染色加工事業の受注が低迷する中で、編物加工商品を中心に荷受取扱数量が堅調に推移した結果、売上高は69百万円（前年同期比3.7%増、2百万円増）と増収となり、適正な人員配置の徹底など効率的な経営に努めたことにより、営業利益2百万円（前年同期比1.3%増、0百万円増）となりました。

## ⑤その他事業

当セグメントには、機械販売事業、システム事業及び、付随事業である不動産賃貸事業が含まれており、売上高は47百万円（前年同期比8.2%減、4百万円減）、営業利益は8百万円（前年同期比61.3%減、14百万円減）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、13,201百万円（前連結会計年度末比3.9%減、538百万円減）となりました。これは主に現金及び預金の減少282百万円、受取手形及び売掛金の減少115百万円、投資有価証券の減少158百万円等によるものです。

負債は、8,499百万円（前連結会計年度末比4.9%減、441百万円減）となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少47百万円、短期借入金返済による減少66百万円、その他流動負債の減少253百万円、退職給付引当金の減少46百万円等によるものです。

純資産は、4,701百万円（前連結会計年度末比2.0%減 96百万円減）となりました。これは主に四半期純損失の計上140百万円、その他有価証券評価差額金の減少113百万円、為替換算調整勘定の増加223百万円等によるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想につきましては、業績予想数値は平成24年5月10日公表時から変更しておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計上の見積りの変更

（退職給付引当金の数理計算上の差異の処理年数の変更）

従来、数理計算上の差異の費用処理年数は10年としておりましたが、従業員の平均残存勤務期間が短縮したため、当第1四半期連結会計期間より費用処理年数を9年に変更しております。

この変更に伴い、当第1四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純損失は9,575千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,714,773	1,432,100
受取手形及び売掛金	3,798,912	3,683,001
商品及び製品	265,458	236,084
仕掛品	384,914	376,824
原材料及び貯蔵品	343,250	342,762
繰延税金資産	32,675	26,648
その他	155,764	210,701
貸倒引当金	△8,475	△8,439
流動資産合計	6,687,273	6,299,684
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,367,333	1,395,761
機械装置及び運搬具（純額）	1,813,109	1,877,856
土地	1,816,076	1,813,094
建設仮勘定	160,519	53,797
その他（純額）	47,193	72,092
有形固定資産合計	5,204,233	5,212,603
無形固定資産		
のれん	691	592
その他	36,977	36,204
無形固定資産合計	37,669	36,797
投資その他の資産		
投資有価証券	1,550,215	1,391,893
繰延税金資産	10,423	7,340
その他	259,137	261,919
貸倒引当金	△8,774	△8,774
投資その他の資産合計	1,811,001	1,652,379
固定資産合計	7,052,904	6,901,780
資産合計	13,740,177	13,201,464

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,293,635	2,245,876
短期借入金	2,107,254	2,040,319
未払法人税等	32,062	32,580
賞与引当金	29,680	21,787
その他	1,231,620	978,571
流動負債合計	5,694,252	5,319,136
固定負債		
社債	90,000	90,000
長期借入金	721,500	759,600
退職給付引当金	1,937,072	1,890,228
役員退職慰労引当金	269,207	275,666
環境対策引当金	17,950	7,125
資産除去債務	36,135	36,924
負ののれん	6,474	4,856
その他	169,122	116,220
固定負債合計	3,247,462	3,180,621
負債合計	8,941,715	8,499,758
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,300,000	4,300,000
資本剰余金	1,400,248	1,400,248
利益剰余金	305,733	89,059
自己株式	△335,670	△335,720
株主資本合計	5,670,312	5,453,587
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68,531	△45,084
為替換算調整勘定	△1,146,784	△923,573
その他の包括利益累計額合計	△1,078,253	△968,657
少数株主持分	206,403	216,777
純資産合計	4,798,462	4,701,706
負債純資産合計	13,740,177	13,201,464

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	3,683,427	3,585,251
売上原価	3,229,400	3,120,214
売上総利益	454,027	465,036
販売費及び一般管理費	468,160	458,727
営業利益又は営業損失(△)	△14,133	6,308
営業外収益		
受取利息	42	12
受取配当金	22,358	20,358
負ののれん償却額	1,618	1,618
為替差益	5,803	6,415
還付消費税等	—	36,241
雑収入	11,412	19,075
営業外収益合計	41,235	83,721
営業外費用		
支払利息	11,882	8,591
退職給付費用	31,277	—
災害による損失	—	4,640
雑支出	10,099	4,045
営業外費用合計	53,258	17,277
経常利益又は経常損失(△)	△26,157	72,753
特別損失		
事業整理損	—	168,050
特別損失合計	—	168,050
税金等調整前四半期純損失(△)	△26,157	△95,297
法人税、住民税及び事業税	17,243	24,215
法人税等調整額	△6,259	1,387
法人税等合計	10,983	25,602
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△37,141	△120,900
少数株主利益	24,066	19,285
四半期純損失(△)	△61,207	△140,185

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△37,141	△120,900
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,121	△113,616
為替換算調整勘定	23,619	233,064
その他の包括利益合計	21,498	119,448
四半期包括利益	△15,642	△1,451
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△49,577	△30,589
少数株主に係る四半期包括利益	33,934	29,138

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	染色加工	縫製品 販売	保育 サービス	倉庫	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	2,913,703	438,895	298,909	7,173	3,658,681	24,746	3,683,427	—	3,683,427
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	70,179	44,991	—	59,715	174,886	27,481	202,367	△202,367	—
計	2,983,882	483,887	298,909	66,888	3,833,567	52,227	3,885,795	△202,367	3,683,427
セグメント利益又は 損失(△)	△66,015	15,502	7,180	2,435	△40,897	22,923	△17,973	3,840	△14,133

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである機械販売事業、システム事業及び、付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額3,840千円には、セグメント間取引消去3,938千円、のれんの償却額△98千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	染色加工	縫製品 販売	保育 サービス	倉庫	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	2,802,990	404,388	341,003	6,060	3,554,443	30,807	3,585,251	—	3,585,251
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	85,129	—	63,269	148,399	17,120	165,520	△165,520	—
計	2,802,990	489,518	341,003	69,330	3,702,842	47,928	3,750,771	△165,520	3,585,251
セグメント利益又は 損失(△)	△17,394	16,006	△3,728	2,467	△2,649	8,868	6,218	90	6,308

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである機械販売事業、システム事業及び、付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額90千円には、セグメント間取引消去188千円、のれんの償却額△98千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。